

平成 24 年度「震災子ども支援室」活動報告

加藤 道代

震災子ども支援室 室長

要約

昨年度開室した震災子ども支援室にとって、平成 24 年度は、活動の組織化に力を注いだ一年となった。支援室に関するチラシ、ポスターを作成し、これを各市町村、学校関係等に配布したほか、新聞雑誌、テレビ、ラジオ等の報道を通じた周知も行った。相談事業は、フリーダイヤルの電話相談を開始したことで、遠方からも当事者相談が届いている。こうした個別相談は他の事業や活動の土台であり、電話口の個々の声には丁寧な対応を続けている。東部児童相談所、宮城県里親会との共催で立ち上げた里親サロンは、気仙沼市、石巻市、東松島市ほかで定期開催に至った。さらに、個別訪問相談、東部児童相談所石巻支所の里親担当者にむけたスーパーバイズ事業も定期的に行っている。あしなが育英会のスタッフにむけたストレスマネジメント事業は 1 年間を通して行われたほか、数々の支援団体が活動する際の実際的な相談にも対応した。研修・講演活動は、地域の専門職の後方支援として要請に応じて行っている。テーマを掲げた講演会として、父子家庭の理解のために講演会を企画し、気仙沼、亘理の 2 カ所で開催した。年に 2 回（3 月と 9 月）のシンポジウムは、子どもにかかわる地域の専門職が多数集まる機会として定着してきている。次年度は、本年度の活動を充実させる一方で、3 回忌を迎える東北の“今”の姿を念頭においた感度の高い活動を進めていきたい。

平成 24 年度寄附金一覧

平成24年度寄付金一覧

寄付者	金額
平美都江 殿	12,000,000
齋藤しま 殿	10,000,000
(株)コンセプト	495,550
チャリティ「ILDIVO」を愛する会	190,000
楽遊協会	90,000
鈴木 武志 殿	120,000
石田育子 殿	100,000
(有)榎田石材店	30,000

活動内容

1. 相談実績

<当事者相談> (平成24年4月1日～平成25年1月末日現在)

	実数	延べ件数	総所要時間
電話相談	74	145	3891分
電話(その他・問合せ等)	26	32	105分
相談ケース	10	20	783分
ケースコーディネーション	4	8	125分
組織運営に関するアドバイス	6	8	300分
支援室内ケースカンファレンス	41	0	2160分

<専門家相談・支援者相談>

- (1) 東部児童相談所気仙沼支所里親担当
- (2) 富谷町民生委員
- (3) あしなが育英会
- (4) 宮城県里親会
- (5) 東部児童相談所石巻支所里親担当
- (6) 南三陸町保健福祉課
- (7) NPO法人 フューチャーキッズジャパン
- (8) 黒磯ロータリークラブ

<あしなが育英会スタッフ対象ストレスマネジメント>

あしなが育英会新人スタッフに対して、月1回ストレスマネジメントを行った(場所はあしなが育英会東北事務所)

- 5月23日 あしなが育英会ストレスマネジメント (グループワーク)
- 6月13日 あしなが育英会ストレスマネジメント (グループワーク、筋膜ケア)
- 7月 4日 あしなが育英会ストレスマネジメント (グループワーク、筋膜ケア)
- 7月18日 あしなが育英会ストレスマネジメント (筋膜ケア、自律訓練法)
- 8月22日 あしなが育英会ストレスマネジメント (グループワーク、筋膜ケア)
- 9月26日 あしなが育英会ストレスマネジメント (グループワーク、筋膜ケア)
- 10月24日 あしなが育英会ストレスマネジメント (グループワーク、筋膜ケア)
- 11月21日 あしなが育英会ストレスマネジメント (コラージュ)
- 12月19日 あしなが育英会ストレスマネジメント (粘土)
- 2月 6日 あしなが育英会ストレスマネジメント (グループワーク)

<スーパーバイズ事業>

東部児童相談所里親担当対象

11月14日 東部児童相談所里親担当スーパーバイズ (石巻市)

12月17日 東部児童相談所里親担当スーパーバイズ (石巻市)

2. 里親サロン

東部児童相談所、宮城県里親連合会との共催で行われた。養育里親として活動されていた方々もチューターとしてサロンに加わり、震災で新たに親族里親になられた方にむけた支援を行った。

5月16日 里親サロン 本吉町

6月27日 里親サロン打合せ (東部児童相談所)

7月3日 里親サロン 石巻市

8月28日 里親サロン 東松島市

9月6日 里親サロン 本吉町

10月31日 里親サロン 石巻市

11月27日 里親サロン 東松島市

2月1日 里親サロン 本吉町

2月20日 里親サロン 石巻市

3. 震災子ども支援室主催による会議、シンポジウム、研修会など

(1) シンポジウム「東日本震災後の子ども支援」(平成 24 年 3 月 3 日 (土)、東北大学文科系総合棟 11 階大会議室, 参加者数 57 名)

東日本大震災から 1 年間、被災地現場で日常的に子ども支援を行ってきた、教師、スクールカウンセラー、児童青年精神科医の 3 名を迎えて、震災後の子どもたちを振り返り、周囲の大人に求められる今後の対応について議論した。

報告 1 教育の現場からみえる中学生の姿(震災直後から現在までの子どもたちの様子から)

鹿野宏美氏 / 石巻市立万石浦中学校教諭

報告 2 福島で今、何が起こっているか～心のケアの今後を考える～(放射能被害を受けている福島の子どもの保護者の声から)

須藤弘美氏 / 福島県スクールカウンセラー

講演 震災と子どものこころ(宮古子どものこころケアセンターでのとりくみから)

八木淳子氏 / 盛岡少年刑務所医務課医師(児童精神科医師)

- (2) シンポジウム「第2回東日本震災後の子ども支援～診察室や保健室から見える子ども達～」(平成24年9月15日(土)、東北大学文科系総合棟11階大会議室, 参加者数73名)

東日本大震災から1年半を迎え、被災地現場で日常的に子ども支援を行なってきた、養護教諭、心理士、小児科医の3名を迎えて、身体面からみた子どもたちの様子を振り返り、周囲の大人に求められる今後の対応について議論した。

報告1 一歩前進

伊藤香織氏 / 石巻市立門脇中学校養護教諭

報告2 福島における心理面の課題

渡部純夫氏 / 東北福祉大学教授

報告3 小児科の診察室から～これまでの経過と今後の課題～

豊島喜美子氏 / 医療法人豊島医院(小児科医師)

- (3) 講演会「みんなで支える子育てイン気仙沼」(平成24年10月20日(土)、気仙沼市中央公民館1階集会室, 参加者数16名)

震災後、環境の変化などから子育ての難しさを抱え、悩んでいる保護者の方も多。そこで、父子家庭の抱える現状と課題について学ぶ機会とした。

講話 父子家庭の抱える現状と課題

村上吉宣氏 / 宮城県父子の会代表, 全国父子家庭支援連絡会理事

- (4) 講演会「みんなで支える子育てイン亶理」(平成24年11月10日(土)、亶理町中央公民館団体室, 参加者数15名)

震災後、環境の変化などから子育ての難しさを抱え、悩んでいる保護者の方も多。そこで、父子家庭の抱える現状と課題について学ぶ機会とした。

講話 父子家庭の抱える現状と課題

村上吉宣氏 / 宮城県父子の会代表, 全国父子家庭支援連絡会理事

4. 研修講師の派遣

- (1) 仙台市泉区子育て支援関係機関連絡会「被災地に暮らしながら支援を行うために」児童センター・児童館・地区民児協8地区会長・主任児童委員・保育所・小学校など80名(平成24年2月13日:仙台:講師・加藤道代)
- (2) 宮城県黒川郡富谷町「心の研修会～震災後1年を振り返って～」富谷町健康推進員、民生児童委員90名(平成24年2月28日:富谷町:講師・加藤道代)
- (3) 宮城県里親連合会総会「里親サロンのチューターに求められること」(平成24年5月17日:仙台:平井美弥)

- (4) 仙台市若林区民生委員、主任児童員「被災地に暮らしながら支援を行うために～1年半がたって～」(平成24年9月4日：仙台：講師・加藤道代)
- (5) 宮城県気仙沼市保育関係者(保育所・幼稚園)保育士研修「保育士の行う保護者支援」(平成24年9月11日：気仙沼市：講師・加藤道代)
- (6) 宮城県石巻市保育関係者(保育所・幼稚園)保育士研修「保育士の行う保護者支援」(平成24年11月14日：石巻市：講師・加藤道代)
- (7) 仙台家庭裁判所 自庁研修会「目にみえるものへの手当て、目にみえないものへの心遣い」(平成24年12月11日：仙台市：講師・加藤道代)

5. 会議、情報交換会出席

- (1) 平成24年3月10日 子どものこころ講習会と情報交換会(みやぎ心のケアセンター、仙台子どものこころ研究会共催；仙台市) 加藤出席
- (2) 6月14日 第1回岩手県被災児童支援団体交流会(岩手県保健福祉課主催：盛岡市) 平井・押野・久保出席
- (3) 8月21日 第2回石巻・登米地域子どもの心のケア対策連絡会議(東部児童相談所主催：石巻市) 加藤・平井・押野出席
- (4) 石巻市校長会 平井出席
- (5) 10月17日 第1回南三陸町子ども支援連絡調整会議(南三陸町保健福祉課主催：南三陸町) 加藤・平井・押野出席
- (6) 平成25年1月30日 第2回南三陸町子ども支援連絡調整会議(南三陸町保健福祉課主催：南三陸町) 加藤・平井出席

6. 関連自治体・団体への訪問

- 3月19日 南三陸町訪問(保健福祉課)
- 3月19日 南三陸ホテル観洋託児所マリンパル相談対応
- 3月23日 仙台市各家庭健康課、みやぎ心のケアセンター、宮城県子ども総合センター、宮城県中央児童相談所、宮城県保健福祉部子ども家庭課、仙台市子供未来局子供育成部子育て支援課
- 4月13日 仙台いのちの電話事務局
- 4月26日 石巻市福祉部健康推進課
- 5月10日 東部児童相談所気仙沼支所
- 5月31日 石巻市市民相談センター
- 7月12日 県南里親会里親サロン(柴田町)
- 7月24日 (株)コンセプト
- 8月17日 米沢市社会福祉協議会、避難者支援センターおいで みやぎ心のケアセンター

- 8月20日 南三陸町保健福祉課健康推進係 南三陸町教育委員会
- 8月21日 石巻・登米地域子どもの心のケア対策連絡会議
- 10月3日 石巻市校長会
- 10月17日 第1回南三陸町子ども支援連絡調整会議
- 11月15日 奥尻島津波館
- 11月15日 奥尻島保健福祉センター
- 11月15日 奥尻町役場
- 11月16日 奥尻町教育委員会事務局
- 11月16日 北海道札幌”うけいれ隊”
- 11月17日 元奥尻稲穂小学校校長
- 12月6日 石巻専修大学

7. 講演会, 研修会等出席

- (1) 3月24日 子どもと家庭を支えるネットワークと連携をめざして(子どもの村SOS; 仙台市) 平井・押野出席
- (2) 4月27日 大災害で被災した子どもを救うプレイメーカープロジェクト(児童精神科医本間博彰氏、児童精神科医八木淳子氏)(宮城県子ども総合センター主催:東京都) 平井・押野出席
- (3) 4月28・29日 親をなくした子どもたちの心のケアと成長をサポートするファシリテータ養成講座(あしなが育英会主催:石巻市) 平井出席
- (4) 5月27日 講演:困難を生きる心の力とその援助(ヴァルデマール・キッペス氏)(NPO臨床パストラル教育研究センター主催:仙台市) 平井・押野出席
- (5) 6月1日 講演:パペットを使ったココロのケアとショー(マスキット・ショシャット, イスラエルシュナイダー小児医療センター教育部長)(東北大学医学部主催:仙台市) 平井・押野出席
- (6) 7月22日 講演:愛着の絆と里親養育(国立成育医療研究センター奥山真紀子氏)(子どもの村SOS主催:仙台市) 平井・押野出席
- (7) 8月18日 公開講座:「被災地からの報告-地域再生のために保健師として大切にしたいこと-」(渋谷美智子氏、岩崎桂氏、工藤初恵氏、只野里子氏、三浦ひとみ氏、平山史子氏(市町村保健師))(宮城県・宮城県看護協会・全国保健師長会宮城県支部主催:仙台市) 押野出席
- (8) 10月6日 講演:震災とこころのケア研修会(宮城学院女子大学 足立智昭教授)(宮城学院女子大学主催:仙台市) 平井・押野出席
- (9) 10月8日 講演:震災とこころのケア研修会(京都大学こころの未来研究センター 河合俊雄氏 筑波大学大学院教授 岸良範氏、京都大学 田中康裕氏)

- (日本箱庭療法学会日本ユング派分析協会主催：福島市) 平井出席
- (10) 10月27日 第7回子どもの夢ネットワーク研修会 “支援のつながりを培う” (子どもと家族の相談室 川口正義社会福祉士) (子どもの夢ネットワーク主催：仙台市) 平井出席
- (11) 10月28日 心の復興と交流分析 (宮本静子教諭、江花昭一横浜労災病院心療内科医師) (日本交流分析協会主催：仙台市) 平井出席
- (12) 10月28日 福島県会津地方における震災後の子供への支援の現状と課題 (寺田隆教諭) (日本臨床発達心理士会東北支部主催：仙台市) 平井出席
- (13) 12月20日「震災により孤児や遺児となった子どもたちの支援と、彼らをケアする里親さんへの支援を考える研修会」聴講 平井出席
- (14) 12月22日「東日本大震災心理支援報告研修会」聴講 加藤教授出席
- (15) 12月22日 講習衛生の担い手としての保健師活動～災害支援活動を通して保健師に伝えたいもの～ 押野出席

8. 支援室来室対応

- (1) 全国父子家庭支援連絡会 宮城県父子の会 (4月3日)
- (2) グリーフケア研究会 (4月11日)
- (3) 子どもの村福岡SOS (4月19日)
- (4) あしなが育英会新人スタッフ (4月20日)
- (5) 宮城県里親連合会 (4月25日)
- (6) 宮城教育大学 (5月2日)
- (7) 若林区中央市民センター (5月15日)
- (8) 全国父子家庭支援連絡会 宮城県父子の会 (6月15日)
- (9) 臨床心理士久保さん (6月19日)
- (10) グリーフケア研究会 (6月26日)
- (11) グリーフケア研究会 (7月17日)
- (12) 全国父子家庭支援連絡会 宮城県父子の会 (7月17日)
- (13) あしなが育英会スタッフ (10月4日)
- (14) 北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センター 池祐季助教 (10月5日)
- (15) 宮城県里親連合会 (10月12日)
- (16) 国際紙パルプ商事株式会社 (10月23日)
- (17) NPO法人 フューチャーキッズジャパン (10月24日)
- (18) 黒磯ロータリークラブ (10月30日)

9. 報道関係

- (1) 3月10日 北海道新聞 “避難児の心癒そう”
- (2) 4月11日 NHKニュース “震災子ども支援室：無料電話相談の設置”（朝…東北全域、午後…全国）
- (3) 5月8日 少年写真新聞社 心の健康ニュース震災孤児・遺児支援の立場から（前）
- (4) 6月8日 少年写真新聞社 心の健康ニュース震災孤児・遺児支援の立場から（後）
- (5) 7月16日 NHKラジオ第1放送「ラジオあさいちばん」～復興へのメッセージ～（午前5時17分頃から7分前後・・・全国）
- (6) 10月19日 「ひとりじゃないよ」と伝えたい朝日少年新聞
- (7) 東北大学 Annual Review 2012 p11 「震災子ども支援室の立ち上げ;培った地域臨床のノウハウで支援」(Tohoku University Annual Review 2012 p11 “Establishment of the Support Office for Children in the Aftermath of the 2011 Japan Earthquake; Support with developed community clinical practice know how”)
- (8) 2月11日 公開復興サポート明日へ in東北大学

10. 広報・出版物・報告書

- (1) 「震災子ども支援室」広報ポスター、チラシ、カードの作成、自治体と関連団体、学校に配布。FREEPAPER(ままばれ宮城版)に掲載。
- (2) 開室記念シンポジウム報告書「親を亡くした子どもに対する支援の中長期的展望」作成と配布
- (3) シンポジウム「東日本震災後の子ども支援～震災から1年を振り返って～」(平成24年3月3日) 報告書作成と配布
- (4) シンポジウム「第2回東日本震災後の子ども支援～診察室や保健室から見える子ども達～」(平成24年9月15日(土)実施) 報告書作成と配布
- (5) フェイスブック作成。ホームページとリンク。
<http://www.sed.tohoku.ac.jp/~s-children/>

11. その他の活動

- (1) 「里親サロン実施・運営上の注意点について」作成
- (2) 「相談電話を受ける際のマニュアル」作成
- (3) 里親サロン開催マニュアル作成
- (4) 相談記録管理システム作成